

令和 8 年度入学者選抜「出題のねらい」

出題科目	出題のねらい
英語	高校で身につけた英語コミュニケーション力、論理的思考力、英語表現力に加え、長文読解力、文法語法と英作文力を総合的に測ることを出題の意図としています。 高校の教科書レベルの内容をきちんと理解していて、高校 3 年生までの英語の基礎学力と表現力を身につけていれば解答できる問題です。英文の内容を多角的に考察し（AP3）、適正な表現力を習得しているか（AP4+AP6）、基本的な文法事項、語彙、英語構文を修得しているか（AP2）、英文を素早く正確に講読できるか（AP2）、単語の発音、アクセントを正確に習得しているか（AP2）、適正な英語表現で英作文が書けるか（AP3+AP4）などを問います。問題の解答には基本的英語知識（AP2）と英文を読んで多角的に物事を把握、判断できる思考力（AP3）と、自分の考えをまとめて表現できる英語力（AP4+AP6）が必要です。
国語	古文、漢文を除く国語総合問題として、論説文や評論を中心とした論理的な文章と随想や随筆を中心とした文学的な文章に関する二つの問題（すべて記述式設問）を出題します。論理的な文章に関する問題においては、そのねらいは主として、文章全体の論理的構成を押さえたうえで、その内容をしっかりと理解し、多角的な視点から考察できているか（AP3）を確認することに置かれます。 また、文学的文章に関する問題においては、文章全体の流れのなかで著者の思いや心情を的確に捉え、それを自分の言葉で表現することができるか（AP4）を確認することに置かれます。 なお、いずれの問題においても、基本的日本語能力を測るねらいで、漢字の読み書き、語意説明等に関する設問が加えられています（AP2）。
数学	〔理工学部〕 出題範囲は「数学Ⅰ」、「数学 A」、「数学Ⅱ」です。教科書の内容をしっかりと理解していれば解答できる問題です。数や式の変形が素早く正確に行えるか、基本事項を理解しているか、理解した内容を具体的な問題に適用できるか（AP2）などを問います。問題はすべて記述式ですので、結論にいたる過程を筋立てて説明する力も必要です。 〔経営学部・人間学部〕 出題範囲は「数学Ⅰ」、「数学 A」です。教科書の内容をしっかりと理解していれば解答できる問題です。数の計算や式の変形が正確に行えるか、基本事項を理解しているか、理解した内容を具体的な問題に適用できるか（AP2）などを問います。問題はすべて記述式ですので、結論にいたる過程を筋立てて説明する力も必要です。
理科 「物理基礎・物理」	教科書「物理基礎」の内容を理解しているか確認することが目的です。公式にあてはめて、答を求めるだけではなく、公式が意味する物理現象の理解に努めてください（AP2）。自らの手を使って教科書の例題や演習問題を練習しておけば、解くことができる基本的な問題を出題します。
出題科目	出題のねらい
理科 「化学基礎・化学」	化学の基本的な知識は、大学で学ぶさまざまな理工系科目の基礎として大切なものです。そのため、化学の基礎的な知識を身につけているか

	を測るため「化学基礎」を中心にして基本的な問題を出題します（AP2）。 「化学」については、高分子化学の分野を対象外にします。教科書や問題集の基本的な例題や演習問題を、自分で考えて答えを導き、それを正しく表現できるように準備してください。
理科 「生物基礎・生物」	生物学の基本的な知識を正確に身につけ、活用できるかを総合的に評価することをねらいとします。そのために、生物学の専門用語を正しく理解しているか（AP2）、そして生物が関わる実例を正しく理解・考察し（AP3）、その内容を簡潔に説明できるか（AP4）を問う問題を出題します。「生物基礎」、「生物」の教科書の内容をしっかりと理解していれば解くことができる問題です。
地理歴史・公民 「公共、政治・経済」	特に公共について社会科必修科目として位置づけられていることから、その基本的内容が知識として定着しているかをみる（AP2）とともに、本学入学後の講義において多角的な視点から社会に関心を持ち（AP3）、学んだ知識を合理的に組み合わせ創造的な思考につなげていく力（AP5）について問うことを出題のねらいとしています。基本的な用語の理解を中心に単語の意味にとどまらず、なぜそれを学ばなければならないのかについてしっかり考察しておきましょう。
地理歴史・公民 「歴史総合・日本史探究」	原始・古代史から戦後史を含む近・現代史までできるだけ広い時代から出題することを心がけています。基本的には、教科書に沿った出題をしています（AP2）。因果関係、背景、国際関係などにも気を配り、単なる人名や地名、歴史的事実の名称の暗記にならないように理解しておくことが大切です（AP3）。
地理歴史・公民 「歴史総合・世界史探究」	教科書の基本的な事柄を、きちんと理解していることが重要です。出題の範囲は限定しておらず、毎年幅広くテーマや時代を選び出題しています。 個別の国・地域の歴史を理解することはもちろん、地域間の交渉・交流の歴史を理解しておくことも重要です（AP2）。 単なる事柄や名称を覚えるだけではなく、因果関係や背景などを理解しておくことが必要です（AP3）。
地理歴史・公民 「地理総合・地理探究」	現代世界の地域的特色を理解しているかどうか、地理的なものの見方や考え方が身に付けているかどうかを評価します（AP2）。 具体的には、自然環境、資源、産業、都市・村落、生活文化といった系統地理的考察、地域の規模に応じた地誌的考察、現代世界の諸課題に対する地理的考察から偏りなく出題します（AP3）。 地域的にも内容的にも多岐に渡るため、教科書を丁寧に勉強することをおすすめします。また、統計データとして『日本国勢図会』『世界国勢図会』を活用した出題をこれまで行っておりますので、分野ごとにこれらの資料にも目を通しておくことが必要です。

※出題のねらいは、「一般選抜」および「特待生選抜」共通

入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

1. 本学の建学の精神である「社会に対する報恩奉仕」と、それを現代的に捉え直した21世紀ビジョンである「社会知性の開発」を理解したうえで、本学での学びを強く望んでいる。（学修態度）
2. 高等学校における学習によって、本学での学修に必要な基礎学力を有している。（知識・技能）
3. 物事を複数の視点から多面的に考察し、合理的な判断を導くことの大切さを理解している。（思考・判断・表現）
4. 「現代の国語（国語総合）」で到達すべき程度の言語能力をそなえ、自らの考えを的確に表現できる技能がある。（知識・技能）
5. 社会、教育、文化、人間、自然科学、工学技術などにかかわる諸問題に深い関心を持ち、社会に積極的に貢献する意欲がある。（関心・意欲）
6. 他者の立場や考えを理解し多様性を尊重する意思を持ちながら積極的に他者とかわる意欲がある。（関心・意欲）